



イベントに関する詳細情報

OnCommand Unified Manager 9.5

NetApp
October 23, 2024

目次

イベントに関する詳細情報	1
イベントの状態の定義	1
概要のイベントの重大度タイプ	2
イベントの影響レベルの概要	2
イベントの影響領域の概要	3
オブジェクトステータスの計算方法	3
パフォーマンスイベントのソース	3
動的なパフォーマンスイベントチャートの詳細	4
システム定義のパフォーマンスしきい値ポリシーのタイプ	6
イベントおよび重大度タイプのリスト	8

イベントに関する詳細情報

イベントに関する概念を理解しておくこと、クラスタおよびクラスタオブジェクトを効率的に管理し、アラートを適切に定義できるようになります。

イベントの状態の定義

イベントの状態を確認すると、対処が必要かどうかを特定するのに役立ちます。イベントの状態は、「新規」、「確認済み」、「解決済み」、「廃止」のいずれかです。「新規」と「確認済み」のイベントの両方がアクティブなイベントとみなされます。

イベントの状態は次のとおりです。

- * 新 *

新しいイベントの状態。

- * 承認済み *

イベントを確認したときの状態。

- * 解決済み *

イベントが解決済みとマークされたときの状態。

- * 廃止 *

イベントが自動的に修正されたとき、またはイベントの原因が無効になったときの状態。



廃止状態のイベントを確認または解決することはできません。

イベントのさまざまな状態の例

次の例は、手動および自動でイベントの状態が変化する様子を示しています。

「Cluster Not Reachable」イベントがトリガーされると、イベントの状態は「New」になります。イベントを確認すると、イベントの状態は「確認済み」に変わります。適切な方法で対処したら、イベントを解決済みとしてマークする必要があります。その後、イベントの状態が「解決済み」に変わります。

「クラスタに到達できません」イベントが生成された原因が停電であった場合は、電源が復旧すると、管理者の介入なしでクラスタが起動します。そのため、「クラスタに到達できません」イベントは有効でなくなり、イベントの状態が次の監視サイクルで「廃止」に変わります。

Unified Manager では、イベントが「Obsolete」または「Resolved」の状態になるとアラートを送信します。アラートの E メール の件名と内容に、イベントの状態に関する情報が記載されます。SNMP トラップには、イベントの状態に関する情報も含まれます。

概要のイベントの重大度タイプ

イベントには、対処する際の優先度を判別できるように、それぞれ重大度タイプが関連付けられています。

- * 重要 *

問題が発生しており、すぐに対処しないとサービスが停止する可能性があります。

パフォーマンスに関する重大イベントは、ユーザ定義のしきい値からのみ生成されます。

- * エラー *

イベントソースは実行中ですが、サービスの停止を回避するために対処が必要です。

- * 警告 *

イベントソースに注意が必要なアラートが発生したか、クラスタオブジェクトのパフォーマンスカウンタが正常な範囲から外れており、重大な問題にならないように監視が必要です。この重大度のイベントでは原因サービスは停止しません。早急な対処も不要です。

パフォーマンスに関する警告イベントは、ユーザ定義のしきい値、システム定義のしきい値、または動的なしきい値から生成されます。

- * 情報 *

新しいオブジェクトが検出されたときやユーザ操作が実行されたときに発生します。たとえば、ストレージオブジェクトが削除された場合や設定に変更があった場合は、情報タイプの重大度のイベントが生成されます。

情報イベントは、設定の変更が検出されたときに ONTAP から直接送信されます。

イベントの影響レベルの概要

イベントには、対処する際の優先度を判別できるように、それぞれに影響レベル（インシデント、リスク、またはイベント）が関連付けられています。

- * インシデント *

インシデントは、クラスタによるクライアントへのデータの提供の停止やデータを格納するスペースの不足を発生させることができる一連のイベントです。影響レベルが「インシデント」のイベントは、最も重大度が高く、サービスの停止を回避するためにすぐに対処する必要があります。

- * リスク *

リスクは、原因クラスタによるクライアントへのデータの提供の停止やデータを格納するスペースの不足を引き起こす可能性がある一連のイベントです。影響レベルが「リスク」のイベントは、原因サービスの停止につながる可能性があります。対処が必要な場合があります。

- * イベント *

イベントは、ストレージオブジェクトとその属性の状態やステータスの変化を示します。影響レベルが「イベント」のイベントは情報提供を目的としたものであり、対処は必要ありません。

イベントの影響領域の概要

イベントは、管理者が担当するタイプのイベントに専念できるように、5つの影響領域（可用性、容量、構成、パフォーマンス、および保護）に分類されています。

- * 利用可能性 *

可用性イベントは、ストレージオブジェクトがオフラインになった場合、プロトコルサービスが停止した場合、ストレージフェイルオーバーを実行した問題が発生した場合、ハードウェアで問題が実行された場合に通知するイベントです。

- * 容量 *

容量イベントは、アグリゲート、ボリューム、LUN、またはネームスペースのサイズがしきい値に近づいているか達した場合、または環境の通常の増加率とかけ離れている場合に通知するイベントです。

- * コンフィグレーション *

構成イベントは、ストレージオブジェクトの検出、削除、追加、または名前変更について通知するイベントです。構成イベントの影響レベルは「イベント」、重大度タイプは「情報」です。

- * パフォーマンス *

パフォーマンスイベントは、監視対象のストレージオブジェクトにおけるデータストレージの入力速度や取得速度に悪影響を及ぼす可能性がある、クラスタのリソース、設定、または処理の状況について通知するイベントです。

- * 保護 *

保護イベントは、SnapMirror 関係に関するインシデントやリスク、デスティネーションの容量の問題、SnapVault 関係の問題、または保護ジョブの問題について通知するイベントです。セカンダリボリュームおよび保護関係をホストする ONTAP オブジェクト（アグリゲート、ボリューム、および SVM）は、いずれもこの影響領域に分類されます。

オブジェクトステータスの計算方法

オブジェクトステータスは、現在の状態が「新規」または「確認済み」の最も重大度の高いイベントによって決まります。たとえば、オブジェクトステータスが Error の場合は、オブジェクトのいずれかのイベントの重大度タイプが Error となっています。イベントに対処すると、イベントの状態は Resolved になります。

パフォーマンスイベントのソース

パフォーマンスイベントとは、クラスタでのワークロードパフォーマンスに関連する問題です。応答時間が長いストレージオブジェクト（高レイテンシとも呼ばれます）を特

定するのに役立ちます。同時に発生したその他の健全性イベントと一緒に確認することで、応答時間が長くなった原因と考えられる関連する問題を特定することができます。

Unified Manager は、次のソースからパフォーマンスイベントを受け取ります。

- * ユーザ定義のパフォーマンスしきい値ポリシーイベント *

独自に設定したしきい値に基づいたパフォーマンスの問題。アグリゲートやボリュームなどのストレージオブジェクトに対してパフォーマンスしきい値ポリシーを設定して、パフォーマンスカウンタのしきい値を超えたときにイベントが生成されるようにします。

これらのイベントを受け取るためには、パフォーマンスしきい値ポリシーを定義してストレージオブジェクトに割り当てる必要があります。

- * システム定義のパフォーマンスしきい値ポリシーイベント *

システム定義のしきい値に基づいたパフォーマンスの問題。このしきい値ポリシーは Unified Manager にあらかじめ含まれており、一般的なパフォーマンスの問題に対処します。

このしきい値はデフォルトで有効化されており、クラスタの追加後すぐにイベントが生成される場合があります。

- * 動的なパフォーマンスしきい値イベント *

IT インフラストラクチャの障害やエラー、またはクラスタリソースの使用率が高いワークロードによるパフォーマンスの問題。これらのイベントの原因は、時間がたてば修復する、または修理や設定変更によって解決可能な単純な問題です。動的しきい値イベントは、ONTAP システムで、他のワークロードが共有のクラスタコンポーネントを利用していることが原因でボリュームのワークロードの処理速度が低下した場合に生成されます。

このしきい値はデフォルトで有効になっており、新しいクラスタからデータを収集してから 3 日後にイベントが表示されることがあります。

動的なパフォーマンスイベントチャートの詳細

動的なパフォーマンスイベントの場合、イベントの詳細ページのシステム診断セクションに、競合状態のクラスタコンポーネントのレイテンシまたは使用量が最も高い上位のワークロードが表示されます。パフォーマンス統計は、パフォーマンスイベントが検出されてからイベントが最後に分析されるまでの時間に基づいています。このグラフには、競合状態のクラスタコンポーネントの過去のパフォーマンス統計も表示されます。

たとえば、コンポーネントの利用率が高いワークロードを特定して、利用率が低いコンポーネントに移動するワークロードを特定できます。ワークロードを移動すると、現在のコンポーネントでの作業量が減り、コンポーネントの競合状態が解消する可能性があります。このセクションには、イベントが検出されて最後に分析された時刻と日付の範囲が表示されます。アクティブなイベント（新規または確認済みのイベント）の場合は、最後に分析された時刻が継続的に更新されます。

レイテンシとアクティビティのグラフにカーソルを合わせると、上位のワークロードの名前が表示されます。グラフの右側にあるワークロードのタイプメニューをクリックすると、イベントでのワークロードのロールに基づいてワークロードをソートできます。これには、_Shark、_Bully、_Victim の各ワークロードのレイテンシと競合しているクラスタコンポーネントでの使用状況の詳細が表示されます。実際の値と想定値を比較し

て、ワークロードがレイテンシまたは使用量の想定範囲を外れたタイミングを確認できます。を参照してください [Unified Manager](#)で監視されるワークロードの数。



レイテンシのピーク偏差でソートする場合は、システム定義のワークロードがテーブルに表示されません。これは、レイテンシがユーザ定義のワークロードにのみ適用されるためです。レイテンシの値が小さいワークロードはこのテーブルに表示されません。

動的なパフォーマンスしきい値の詳細については、を参照してください [イベントとは](#)。Unified Managerでワークロードをランク付けしてソート順序を決定する方法については、を参照してください [Unified Manager がイベントによるパフォーマンスへの影響を判定する仕組み](#)。

グラフ内のデータには、イベントが最後に分析されるまでの 24 時間のパフォーマンス統計が示されます。各ワークロードの実際の値と想定値は、ワークロードがイベントに関連した時刻に基づいています。たとえば、イベントの検出後にワークロードがイベントに関連した可能性があるため、そのパフォーマンス統計がイベント検出時の値と一致しないことがあります。デフォルトでは、レイテンシのピーク（最大）偏差でワークロードがソートされます。



Unified Manager では 5 分ごとのパフォーマンスとイベントの履歴データが最大 30 日分保持されるため、30 日前より古いイベントの場合、パフォーマンスデータは表示されません。

• * ワークロードソート列 *

◦ * レイテンシグラフ *

前回の分析中の、ワークロードのレイテンシに対するイベントの影響が表示されます。

◦ * コンポーネント使用状況列 *

競合状態のクラスタコンポーネントのワークロードの使用量に関する詳細が表示されます。グラフでは、実際の使用量は青い線で表示されます。検出時刻から最後に分析された時刻までのイベント期間が赤いバーで強調表示されます。詳細については、を参照してください [ワークロードのパフォーマンスの測定値](#)。



ネットワークコンポーネントの場合は、クラスタ以外のアクティビティに基づいてネットワークパフォーマンス統計が作成されるため、この列は表示されません。

◦ * コンポーネント使用率 *

QoS ポリシーグループコンポーネントのネットワーク処理、データ処理、および集約コンポーネントの使用率の履歴、またはアクティビティの履歴をパーセント単位で表示します。ネットワークコンポーネントまたはインターコネクトコンポーネントについては、このグラフは表示されません。統計にカーソルを合わせると、特定の時点における使用状況を表示できます。

◦ * 書き込みMBps履歴の合計

MetroCluster のリソースコンポーネントの場合にのみ、MetroCluster 構成のパートナークラスタにミラーリングされるすべてのボリュームワークロードについて、書き込みスループットの合計が 1 秒あたりのメガバイト数（MBps）で表示されます。

◦ * イベント履歴 *

競合状態のコンポーネントの過去のイベントを示す赤い影付きの線が表示されます。廃止イベントの

場合は、選択したイベントが検出される前に発生したイベントと解決後のイベントがグラフに表示されます。

システム定義のパフォーマンスしきい値ポリシーのタイプ

Unified Manager には、クラスタのパフォーマンスを監視し、イベントを自動生成する標準のしきい値ポリシーがいくつか用意されています。これらのポリシーはデフォルトで有効になっており、監視対象のパフォーマンスしきい値を超えたときに警告イベントまたは情報イベントを生成します。



システム定義のパフォーマンスしきい値ポリシーは、Cloud Volumes ONTAP、ONTAP Edge、ONTAP Select の各システムでは無効です。

システム定義のパフォーマンスしきい値ポリシーから不要なイベントが送られてくる場合は、Configuration/Manage Events ページから個々のポリシーを無効にできます。

ノードのしきい値ポリシー

システム定義のノードパフォーマンスしきい値ポリシーは、Unified Manager で監視されているクラスタ内の各ノードにデフォルトで割り当てられます。

• 利用率の高いノードリソース

1 つのノードが運用効率の上限を超えて稼働していて、ワークロードのレイテンシに影響を及ぼしている可能性がある状況を特定します。これは警告イベントです。

ONTAP 8.3.x 以前のソフトウェアがインストールされているノードの場合、85% 以上の CPU リソースと RAM リソース（ノード利用率）を 30 分以上使用しているノードが特定されます。

ONTAP 9.0 以降のソフトウェアがインストールされているノードの場合、100% 以上のパフォーマンス容量を 30 分以上使用しているノードが特定されます。

• * 利用率の高いノード HA ペア *

HA ペアのノードが HA ペアの運用効率の上限を超えて稼働している状況を特定します。これは情報イベントです。

ONTAP 8.3.x 以前のソフトウェアがインストールされているノードの場合、HA ペアの 2 つのノードの CPU と RAM の使用量が確認されます。2 つのノードのノード利用率の合計が 1 時間以上にわたって 140% を超えている場合は、コントローラフェイルオーバーがワークロードのレイテンシに影響を及ぼします。

ONTAP 9.0 以降のソフトウェアがインストールされているノードの場合、HA ペアの 2 つのノードの使用済みパフォーマンス容量の値が確認されます。2 つのノードの使用済みパフォーマンス容量の合計が 1 時間以上にわたって 200% を超えている場合は、コントローラフェイルオーバーがワークロードのレイテンシに影響を及ぼします。

• * ノードディスクの断片化 *

アグリゲート内の 1 つまたは複数のディスクが断片化されていて、主要なシステムサービスの速度が低下し、ノード上のワークロードのレイテンシに影響を及ぼしている可能性がある状況を特定します。

ノード上のすべてのアグリゲートで特定の読み取り / 書き込み処理の比率が確認されます。このポリシーは、SyncMirror の再同期中、またはディスクスクラビング処理中にエラーが検出されたときにもトリガーされることがあります。これは警告イベントです。



「ノードディスクの断片化」ポリシーは、HDD のみのアグリゲートを分析します。Flash Pool、SSD、および FabricPool の各アグリゲートは分析しません。

アグリゲートのしきい値ポリシー

システム定義のアグリゲートパフォーマンスしきい値ポリシーは、Unified Managerで監視されているクラスター内の各アグリゲートにデフォルトで割り当てられます。

• * 利用率の高いアグリゲートディスク *

アグリゲートが運用効率の上限を超えて稼働していて、ワークロードのレイテンシに影響を及ぼしている可能性がある状況を特定します。そのために、アグリゲート内のディスクの利用率が 30 分以上にわたって 95% を超えているアグリゲートが特定されます。この複数条件のポリシーでは、次に示す分析を実行して、問題の原因を特定します。

- アグリゲート内のディスクがバックグラウンドでメンテナンス作業を実行中かどうか。

ディスクに対してバックグラウンドで実行されるメンテナンス作業には、ディスク再構築、ディスクスクラビング、SyncMirror の再同期、再パリティ化などがあります。

- ディスクシェルフの Fibre Channel インターコネクต์に通信のボトルネックはあるか。
- アグリゲートの空きスペースが不足しているか。3 つの下位ポリシーのうちの 1 つ（または複数）にも違反しているとみなされた場合にのみ、このポリシーに対して警告イベントが発行されます。アグリゲート内のディスクの利用率が 95% を超えているだけであれば、パフォーマンスイベントはトリガーされません。



「利用率の高いディスクを集約」ポリシーは、HDD のみのアグリゲートと Flash Pool（ハイブリッド）アグリゲートを分析します。SSD アグリゲートと FabricPool アグリゲートは分析しません。

QoS のしきい値ポリシー

システム定義のQoSパフォーマンスしきい値ポリシーは、ONTAP のQoS最大スループットポリシー（IOPS、IOPS/TB、またはMBps）が設定されているワークロードに割り当てられます。ワークロードのスループットの値が設定されたQoS値を15%下回ると、Unified Managerはイベントをトリガーします。

• * QoS最大IOPSまたはQoS最大MBpsしきい値*

IOPSまたはMBpsがQoS最大スループット制限を超えていて、ワークロードのレイテンシに影響を及ぼしているボリュームおよびLUNを特定します。これは警告イベントです。

ポリシーグループにワークロードが1つしか割り当てられていない場合、割り当てられているQoSポリシーグループで定義された最大スループットしきい値を超えているワークロードが過去1時間の各収集期間にないかが確認されます。

複数のワークロードで同じQoSポリシーを使用している場合は、ポリシーに割り当てられたすべてのワー

クロードのIOPSまたはMBpsの合計が求められ、その合計がしきい値を超えていないかが確認されます。

- * QoS ピーク IOPS/TB またはブロックサイズしきい値 *

IOPS/TB がアダプティブ QoS ピークスループット制限（またはブロックサイズ指定の IOPS/TB 制限）を超えていて、ワークロードのレイテンシに影響を及ぼしているボリュームを特定します。これは警告イベントです。

このポリシーでは、アダプティブ QoS ポリシーで定義された IOPS/TB のピークしきい値を各ボリュームのサイズに基づいて QoS 最大 IOPS の値に変換し、過去 1 時間の各パフォーマンス収集期間に QoS 最大 IOPS を超えているボリュームを探します。



このポリシーは、クラスタに ONTAP 9.3 以降のソフトウェアがインストールされている場合にのみボリュームに適用されます。

アダプティブQoSポリシーに「block size」要素が定義されている場合、しきい値は各ボリュームのサイズに基づいてQoSの最大MBpsの値に変換されます。過去1時間の各パフォーマンス収集期間にこの値を超えているボリュームがないかが確認されます。



このポリシーは、クラスタに ONTAP 9.5 以降のソフトウェアがインストールされている場合にのみボリュームに適用されます。

イベントおよび重大度タイプのリスト

リストに表示されるイベントを使用して、イベントのカテゴリと名前、および Unified Manager に表示される各イベントの重大度タイプを確認することができます。イベントは、オブジェクトカテゴリごとにアルファベット順に一覧表示されます。

アグリゲートイベント

アグリゲートイベントは、アグリゲートのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

アスタリスク（*）は、Unified Manager イベントに変換された EMS イベントを示します。

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
アグリゲートがオフライン（Document EvtAggregateStateOffline）	インシデント	アグリゲート	重要

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
アグリゲートが失敗しました（Document EvtAggregateStateFailed）	インシデント	アグリゲート	重要
集約は制限されています（DocumentEvtAggregateStateRestricted）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲートの再構築（Document EvtAggregateRaidStateReconstructing）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲートがデグレード状態になりました（Document EvtAggregateRaidStateDegraded）	リスク	アグリゲート	警告
クラウド階層に部分的に到達可能（ドキュメントイベントクラウド階層への到達不能）	リスク	アグリゲート	警告
クラウド階層に到達不能（Document EventCloudTierUnreachable）	リスク	アグリゲート	エラー
MetroCluster の残りのアグリゲート（Document MetroClusterAggregateLeftBehind）	リスク	アグリゲート	エラー
MetroCluster アグリゲートのミラーリングがデグレード状態になる（Document EvtMetroClusterAggregateMirroring Degraded）	リスク	アグリゲート	エラー
アグリゲートの再配置でオブジェクトストアへのアクセスが拒否されました*	リスク	アグリゲート	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ストレージフェイルオーバー時にアグリゲートの再配置でオブジェクトストアへのアクセスが拒否されました*	リスク	アグリゲート	エラー

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
アグリゲートスペースがほぼフル（ Document EvtAggregateNearlyFull ）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲートスペースがフル（ Document EvtAggregateFull ）	リスク	アグリゲート	エラー
アグリゲートのフルまでの日数（ Document EvtAggregateDaysUntilFullSoon ）	リスク	アグリゲート	エラー
アグリゲートがオーバーコミット（ Document EvtAggregateOvercommitted ）	リスク	アグリゲート	エラー
アグリゲートがほぼオーバーコミット（ Document EvtAggregateAlmostOvercommitted ）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲートの Snapshot リザーブがフル（ Document EvtAggregateSnapReserveFull ）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲートの増加率が異常（ Document EvtAggregateGrowthRateAbnormal ）	リスク	アグリゲート	警告

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
アグリゲートを検出（該当なし）	イベント	アグリゲート	情報
アグリゲートの名前を変更（該当なし）	イベント	アグリゲート	情報
アグリゲートが削除されました（該当なし）	イベント	ノード	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
アグリゲート IOPS の重大しきい値を超過（Document AggregateIopsIncident）	インシデント	アグリゲート	重要
アグリゲート IOPS の警告しきい値を超過（DocumentAggregateIopsWarning）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲートMBpsの重大しきい値を超過（Document AggregateMbpsIncident）	インシデント	アグリゲート	重要
アグリゲートMBpsの警告しきい値を超過（Document AggregateMbpsWarning）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲートレイテンシの重大しきい値を超過（Document AggregateLatencyIncident）	インシデント	アグリゲート	重要

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
アグリゲートレイテンシの警告しきい値を超過（DocumentAggregateLatencyWarning）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲート使用済み容量の重大しきい値を超過（AggregatePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	アグリゲート	重要
アグリゲート使用済み容量の警告しきい値を超過（AggregatePerfCapacityUsedWarning）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲート利用率の重大しきい値を超過（DocumentAggregateUtilizationIncident）	インシデント	アグリゲート	重要
アグリゲート利用率の警告しきい値を超過（DocumentAggregateUtilizationWarning）	リスク	アグリゲート	警告
利用率の高いアグリゲートディスクのしきい値を超過（DocumentAggregateDisksOverUtilizedWarning）	リスク	アグリゲート	警告
アグリゲート動的しきい値を超過（DocumentAggregateDynamicEventWarning）	リスク	アグリゲート	警告

クラスイベント

クラスイベントは、クラスタのステータスに関する情報を提供します。これにより、クラスタの潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名、トラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

アスタリスク（*）は、Unified Manager イベントに変換された EMS イベントを示します。

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
クラスタにスペアディスクなし（Document EvtDisksNoSpares）	リスク	クラスタ	警告
クラスタに到達できません（Document EvtClusterUnreachable）	リスク	クラスタ	エラー
クラスタの監視に失敗しました（Document EvtClusterMonitoringFailed）	リスク	クラスタ	警告
クラスタの FabricPool ライセンス容量制限を超過（Document EvtExternalCapacityTierSpaceFull）	リスク	クラスタ	警告
NVME の猶予期間 - 開始*（nvmefGracePeriodStart）	リスク	クラスタ	警告
NVME の猶予期間 - アクティブ*（nvmefGracePeriodActive）	リスク	クラスタ	警告
NVME の猶予期間 - 終了*（nvmefGracePeriodExpired）	リスク	クラスタ	警告
オブジェクトのメンテナンス時間が開始されました（objectMaintenanceWindowStarted）	イベント	クラスタ	重要

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
オブジェクトのメンテナンス時間が終了しました（ objectMaintenanceWindowEnded）	イベント	クラスタ	情報
MetroCluster のスペアディスクが残されている（ document EvtSpareDiskLeftBehind）	リスク	クラスタ	エラー
MetroCluster の自動計画外スイッチオーバーが無効（ Document EvtMccAutomaticUnplannedSwitchOverDisabled）	リスク	クラスタ	警告

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
クラスタのクラウド階層の計画（ clusterCloudTierPlaningWarning）	リスク	クラスタ	警告
FabricPool スペースがほぼフル*	リスク	クラスタ	エラー

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ノードが追加されました（該当なし）	イベント	クラスタ	情報
ノードが削除されました（該当なし）	イベント	クラスタ	情報
クラスタが削除されました（該当なし）	イベント	クラスタ	情報

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
クラスタの追加に失敗（該当なし）	イベント	クラスタ	エラー
クラスタ名が変更されました（該当なし）	イベント	クラスタ	情報
緊急の EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	重要
重大な EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	重要
アラートの EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	エラー
エラーの EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告
警告の EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告
デバッグの EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告
通知の EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告
情報の EMS を受信（該当なし）	イベント	クラスタ	警告

ONTAP EMS イベントは、Unified Manager イベントの 3 つの重大度レベルに分類されます。

Unified Manager イベントの重大度レベル	ONTAP EMS イベントの重大度レベル
重要	緊急 重要
エラー	アラート

Unified Manager イベントの重大度レベル	ONTAP EMS イベントの重大度レベル
警告	エラー 警告 デバッグ 注意 情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
クラスタ IOPS の重大しきい値を超過（ドキュメント ClusterIopsIncident）	インシデント	クラスタ	重要
クラスタ IOPS の警告しきい値を超過（ドキュメントクラスタ警告）	リスク	クラスタ	警告
クラスタMBpsの重大しきい値を超過（ドキュメントクラスタMbpsIncident）	インシデント	クラスタ	重要
クラスタMBpsの警告しきい値を超過（ドキュメントクラスタのMbpsWarning）	リスク	クラスタ	警告
クラスタ動的しきい値を超過（DocumentClusterDynamicEventWarning）	リスク	クラスタ	警告

ディスクイベント

ディスクのイベントは、ディスクのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
フラッシュディスク - スペアブロックがほぼ使用されています（ Document EvtClusterFlashDiskFewerSpareBlockError）	リスク	クラスタ	エラー
フラッシュディスク - スペアブロックなし（ Document EvtClusterFlashDiskNoSpareBlockCritical）	インシデント	クラスタ	重要
一部の未割り当てディスク（Document EvtClusterUnassignedDisksome）	リスク	クラスタ	警告
一部のディスクで障害が発生しました（ Document EvtDisksSomeFailed）	インシデント	クラスタ	重要

エンクロージャのイベント

エンクロージャのイベントは、データセンター内のディスクシェルフエンクロージャのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ディスクシェルフのファンに障害が発生しました（ドキュメントシェルフのファンに障害が発生しました）	インシデント	ストレージシェルフ	重要

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ディスクシェルフの電源装置に障害が発生しました (ドキュメントエヴァティシェルフの電源装置に障害が発生しました)	インシデント	ストレージシェルフ	重要
ディスクシェルフマルチパスが設定されていません (document Connectivity NotInMultiPath) このイベントは次のものには適用されません。 <ul style="list-style-type: none"> • MetroCluster 構成のクラスタ • FAS2554、FAS2552、FAS2520、および FAS2240 のプラットフォーム 	リスク	ノード	警告
ディスクシェルフパスの障害 (documentDiskShelfConnectivityPathFailure)	リスク	ストレージシェルフ	警告

影響範囲：構成

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ディスクシェルフを検出 (該当なし)	イベント	ノード	情報
ディスクシェルフが取り外されました (該当なし)	イベント	ノード	情報

ファンのイベント

ファンのイベントは、データセンター内のノードのファンのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
1つ以上のファンに障害が発生しました（ドキュメント EvtFansOneOrMoreFailed）	インシデント	ノード	重要

フラッシュカードイベント

フラッシュカードのイベントは、データセンター内のノードに取り付けられているフラッシュカードのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
フラッシュカードはオフライン（ドキュメント：FlashCardOffline）	インシデント	ノード	重要

inode イベント

inode イベントは、inode がフルまたはほぼフルになったことを通知します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
inode がほぼフル（Document EvtInodesAlmostFull）	リスク	ボリューム	警告
inode がフル（ドキュメントのノードがフル）	リスク	ボリューム	エラー

論理インターフェイス (LIF) イベント

LIFイベントは、LIFのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
LIFステータス-停止 (Document EvtLifStatusDown)	リスク	インターフェイス	エラー
LIFフェイルオーバーを実行できません (Document EvtLifFailoverNotPossible)	リスク	インターフェイス	警告
LIFがホームポートにない (Document EvtLifNotAtHomePort)	リスク	インターフェイス	警告

影響範囲：構成

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
LIFのルートが設定されていません (該当なし)	イベント	インターフェイス	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ネットワークLIF MBpsの重大しきい値を超過 (ドキュメントNetworkLifMbpsIncident)	インシデント	インターフェイス	重要
ネットワークLIF MBpsの警告しきい値を超過 (DocumentNetworkLifMbpsWarning)	リスク	インターフェイス	警告

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
FCP LIF MBpsの重大しきい値を超過 (ドキュメント FcpLifMbpsIncident)	インシデント	インターフェイス	重要
FCP LIF MBpsの警告しきい値を超過 (ドキュメント FcpLifMbpsWarning)	リスク	インターフェイス	警告
NVMf FCP LIF MBpsの重大しきい値を超過 (ドキュメント NvmfFcLifMbpsIncident)	インシデント	インターフェイス	重要
NVMf FCP LIF MBpsの警告しきい値を超過 (ドキュメント NvmfFcLifMbpsWarning)	リスク	インターフェイス	警告

LUN イベント

LUN イベントは、LUN のステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

アスタリスク (*) は、Unified Manager イベントに変換された EMS イベントを示します。

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
LUN オフライン (Document EvtLunOffline)	インシデント	LUN	重要
LUNが破棄されました*	イベント	LUN	情報
LUN にアクセスするためのアクティブなパスが1つ (Document EvtLunSingleActivePath)	リスク	LUN	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
LUN にアクセスするためのアクティブなパスがありません（ Document EvtLunNotReachable ）	インシデント	LUN	重要
LUN にアクセスするための最適化されたパスがありません（ Document EvtLunOptimizedPathInactive ）	リスク	LUN	警告
HA パートナーから LUN にアクセスするためのパスがない（ Document EvtLunHaPathInactive ）	リスク	LUN	警告

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
LUN Snapshot コピー用の十分なスペースがありません（ ocument LunSnapshotNotPossible ）	リスク	ボリューム	警告

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
LUN IOPS の重大しきい値を超過（ ocLunIopsIncident ）	インシデント	LUN	重要
LUN IOPS の警告しきい値を超過（ ocLunIopsWarning ）	リスク	LUN	警告
LUN MBpsの重大しきい値を超過（ Document LunMbpsIncident ）	インシデント	LUN	重要

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
LUN MBpsの警告しきい値を超過（Document LunMbpsWarning）	リスク	LUN	警告
LUN レイテンシミリ秒 / 処理の重大しきい値を超過（ Document LunLatencyIncident ）	インシデント	LUN	重要
LUN レイテンシミリ秒 / 処理の警告しきい値を超過（ DocumentLunLatencyWarning ）	リスク	LUN	警告
LUN レイテンシ / LUN IOPS の重大しきい値を超過（ ocLunLatencyIopsIncident ）	インシデント	LUN	重要
LUN レイテンシ / LUN IOPS の警告しきい値を超過（ Document LunLatencyIopsWarning ）	リスク	LUN	警告
LUNレイテンシ/ LUN MBpsの重大しきい値を超過（ocLunLatencyMbpsIncident）	インシデント	LUN	重要
LUNレイテンシ/ LUN MBpsの警告しきい値を超過（ocLunLatencyMbpsWarning）	リスク	LUN	警告
LUNレイテンシ/アグリゲート使用済み容量の重大しきい値を超過（Document LunLatencyAggregatePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	LUN	重要

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
LUNレイテンシ/アグリゲート使用済み容量の警告しきい値を超過 (Document LunLatencyAggregatePerfCapacityUsedWarning)	リスク	LUN	警告
LUN レイテンシ / アグリゲート利用率の重大しきい値を超過（ ocLunLatencyAggregateUtilizationIncident）	インシデント	LUN	重要
LUN レイテンシ / アグリゲート利用率の警告しきい値を超過（ ocLunLatencyAggregateUtilizationWarning）	リスク	LUN	警告
LUNレイテンシ/ノード使用済み容量の重大しきい値を超過（文 書lunLatencyNodePerfCapacityUsedIncident)	インシデント	LUN	重要
LUNレイテンシ/ノード使用済み容量の警告しきい値を超過（文 書lunLatencyNodePerfCapacityUsedWarning)	リスク	LUN	警告
LUNレイテンシ/ノード使用済みパフォーマンス容量-テイクオーバーの重大しきい値を超過 (LunLatencyAggregatePerfCapacityUsedTakeoverIncident)	インシデント	LUN	重要
LUNレイテンシ/ノード使用済みパフォーマンス容量-テイクオーバーの警告しきい値を超過 (Document LunLatencyAggregatePerfCapacityUsedTakeoverWarning)	リスク	LUN	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
LUN レイテンシ/ノード利用率の重大しきい値を超過（ocLunLatencyNodeUtilizationIncident）	インシデント	LUN	重要
LUN レイテンシ/ノード利用率の警告しきい値を超過（ocLunLatencyNodeUtilizationWarning）	リスク	LUN	警告
QoS LUN 最大 IOPS の警告しきい値を超過（ドキュメントのQosLunMaxIopsWarning）	リスク	LUN	警告
QoS LUN最大MBpsの警告しきい値を超過（ドキュメントのQosLunMaxMbpsWarning）	リスク	LUN	警告

管理ステーションイベント

管理ステーションイベントは、Unified Manager がインストールされているサーバのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
Unified Managerサーバのディスクスペースがほぼフル（Document EvtUnifiedManagerDiskSpaceNearlyFull）	リスク	管理ステーション	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
Unified Managerサーバのディスクスペースがフル（Document EvtUnifiedManagerDiskSpaceFull）	インシデント	管理ステーション	重要
Unified Managerサーバのメモリが減少（Document EvtUnifiedManagerMemoryLow）	リスク	管理ステーション	警告
Unified Managerサーバのメモリがほとんどない（ドキュメント EvtUnifiedManagerMemoryAlmostOut）	インシデント	管理ステーション	重要

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
パフォーマンスデータ分析への影響（Document EvtUnifiedManagerDataMissingAnalyze）	リスク	管理ステーション	警告
パフォーマンスデータ収集への影響（Document EvtUnifiedManagerDataMissingCollection）	インシデント	管理ステーション	重要



最後の2つのパフォーマンスイベントは、Unified Manager 7.2でのみ使用されていたものです。これらのいずれかのイベントが新規の状態で存在している場合、Unified Manager ソフトウェアを新しいバージョンにアップグレードしてもイベントは自動的にパージされません。イベントを手動で解決済みの状態に移行する必要があります。

MetroCluster ブリッジイベント

MetroCluster ブリッジイベントは、ブリッジのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ブリッジに到達不能（ Document EvtBridgeUnreachable ）	インシデント	MetroCluster ブリッジ	重要
ブリッジの温度が異常（ Document EvtBridgeTemperatureAbnormal ）	インシデント	MetroCluster ブリッジ	重要

MetroCluster 接続イベント

接続イベントは、クラスタのコンポーネント間の接続および MetroCluster 構成のクラスタ間の接続に関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
すべてのスイッチ間リンクが停止（ Document EvtMetroClusterAllSLBetweenSwitchesDown ）	インシデント	MetroCluster スイッチ間接続	重要
MetroCluster パートナー間のすべてのリンクが停止（ Document EvtMetroClusterAllLinksBetweenPartnersDown ）	インシデント	MetroCluster 関係	重要
FC-SAS ブリッジからストレージスタックへのリンクが停止（ Document EvtBridgeSasPortDown ）	インシデント	MetroCluster ブリッジスタック接続	重要
MetroCluster 構成がスイッチオーバーされている（（影響を受けるMetroClusterDRStatusImpacted）	リスク	MetroCluster 関係	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
MetroCluster 構成を部分的にスイッチオーバー（ドキュメント MetroCluster DRStatusPartiallyImpacted）	リスク	MetroCluster 関係	エラー
影響を受ける MetroCluster ディザスタリカバリ機能（文書 MetroCluster DRStatusImpacted）	リスク	MetroCluster 関係	重要
ピアリングネットワーク経由で MetroCluster パートナーに到達できない（ドキュメント MetroCluster PartnersNotReachableOverPeeringNetwork）	インシデント	MetroCluster 関係	重要
ノードから FC スイッチへのすべての FC-VI インターコネクティングリンクが停止（Document EvtMccNodeSwitchFcvLinksDown）	インシデント	MetroCluster ノードのスイッチ接続	重要
ノードから FC スイッチへの一部の FC イニシエータリンクが停止（Document EvtMccNodeSwitchFcLinksOneOrMoreDown）	リスク	MetroCluster ノードのスイッチ接続	警告
ノードから FC スイッチへのすべての FC イニシエータリンクが停止（Document EvtMccNodeSwitchFcLinksDown）	インシデント	MetroCluster ノードのスイッチ接続	重要
スイッチから FC-SAS ブリッジへの FC リンクが停止（ドキュメント EvtMccSwitchgeFcLinksDown）	インシデント	MetroCluster スイッチのブリッジ接続	重要

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ノード間のすべての FC VI インターコネクトリンクが停止 (Document EvtMccInterNodeLinksDown)	インシデント	ノード間の接続	重要
ノード間で 1 つ以上の FC VI インターコネクトリンクが停止 (ocument MccInterNodeLinksOneOrMoreDown)	リスク	ノード間の接続	警告
ノードからブリッジへのリンクが停止 (Document EvtMccNodeBridgeLinksDown)	インシデント	ノードのブリッジ接続	重要
ノードからストレージスタックへのすべての SAS リンクが停止 (Document EvtMccNodeStackLinksDown)	インシデント	ノードスタック接続	重要
ノードからストレージスタックへの 1 つ以上の SAS リンクが停止 (ocument MccNodeStackLinksOneOrMoreDown)	リスク	ノードスタック接続	警告

MetroCluster スイッチイベント

MetroCluster スイッチイベントは、MetroCluster スイッチのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
スイッチの温度が異常 (ドキュメント異常)	インシデント	MetroCluster スイッチ	重要

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
スイッチに到達不能（ Document EvtSwitchUnreachable）	インシデント	MetroCluster スイッチ	重要
ファンの切り替えに失敗 しました (DocumentEvtSwitchFans OneOrMoreFailed)	インシデント	MetroCluster スイッチ	重要
スイッチの電源装置に障 害が発生しました（ドク ュメント EvtSwitchPowerSupplies OneOrMoreFailed）	インシデント	MetroCluster スイッチ	重要
温度センサーの切り替え に失敗しました（ドキュ メント EvtSwitchTemperatureSe nsorFailed）	インシデント	MetroCluster スイッチ	重要
 <p>このイベン トは Cisco スイッチに のみ該当し ます。</p>			

NVMe ネームスペースイベント

NVMe ネームスペースイベントは、ネームスペースのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

アスタリスク（*）は、Unified Manager イベントに変換された EMS イベントを示します。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
NVMeNS オフライン*（ nvmeStatusOffline ）	イベント	ネームスペース	情報

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
NVMeNS オンライン * (nvmmespaceStatusOnline)	イベント	ネームスペース	情報
NVMeNS スペース不足 * (nvmeNamespaceOutOfSpace)	リスク	ネームスペース	警告
NVMe ネームスペースの破棄 * (nvmmespaceDestroy)	イベント	ネームスペース	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
NVMe ネームスペース IOPS の重大しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamesacelopsIncident)	インシデント	ネームスペース	重要
NVMe ネームスペース IOPS の警告しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamesacelopsWarning)	リスク	ネームスペース	警告
NVMeネームスペースMBpsの重大しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamespaceMpsIncident)	インシデント	ネームスペース	重要
NVMeネームスペースMBpsの警告しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamespaceMpsWarning)	リスク	ネームスペース	警告

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
NVMe ネームスペースレイテンシ / 処理の重大しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamesaceLatencyIncident)	インシデント	ネームスペース	重要
NVMe ネームスペースレイテンシミリ秒 / 処理の警告しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamesaceLatencyWarning)	リスク	ネームスペース	警告
NVMe ネームスペースレイテンシ / IOPS の重大しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamespaceLatencyIopsIncident)	インシデント	ネームスペース	重要
NVMe ネームスペースレイテンシ / IOPS の警告しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamespaceLatencyIopsWarning)	リスク	ネームスペース	警告
NVMeネームスペースレイテンシ / MBpsの重大しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamespaceLatencyMbpsIncident)	インシデント	ネームスペース	重要
NVMeネームスペースレイテンシ / MBpsの警告しきい値を超過 (ドキュメント NvmeNamespaceLatencyMbpsWarning)	リスク	ネームスペース	警告

ノードイベント

ノードイベントは、ノードのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

アスタリスク（*）は、Unified Manager イベントに変換された EMS イベントを示します。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ノードのルートボリュームのスペースがほぼフル (Document EvtClusterNodeRootVolumeSpaceNearlyFull)	リスク	ノード	警告
Cloud AWS MetaDataConnFail * (Document CloudAwsMetadataConnFail)	リスク	ノード	エラー
Cloud AWS IAM クレデンシャルが期限切れ * (Document CloudAwslamCredsExpired)	リスク	ノード	エラー
Cloud AWS IAM クレデンシャルが無効 * (ドキュメント CloudAwslamCredsInvalid)	リスク	ノード	エラー
Cloud AWS IAM クレデンシャルが見つからない * (ドキュメント CloudAwslamCredsNotFound)	リスク	ノード	エラー
Cloud AWS IAM クレデンシャルが初期化されていない * (ドキュメント CloudAwslamCredsNotInitialized)	イベント	ノード	情報
Cloud AWS IAM ロールが無効 * (Document CloudAwslamRoleInvalid)	リスク	ノード	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
Cloud AWS IAM RoleNotFound*（ドキュメント CloudAwslamRoleNotFou nd）	リスク	ノード	エラー
オブジェクトストアのホスト解決不可*（ocumentstoreHostUnre solvable）	リスク	ノード	エラー
Objstore InterClusterLifDown*（ocObjstoreInterClusterL ifDown）	リスク	ノード	エラー
要求とオブジェクトストアシングネチャの不一致*	リスク	ノード	エラー
NFSv4プールの1つを使い果たしました*	インシデント	ノード	重要

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
QoS 監視メモリの最大化*（文書 QosMonitorMemoryMaxe d）	リスク	ノード	エラー
QoS 監視メモリの異常*（文書化された QosMonitorMemoryAbate d）	イベント	ノード	情報

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ノードの名前を変更（該当なし）	イベント	ノード	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ノード IOPS の重大しきい値を超過（ドキュメントノード lopsIncident）	インシデント	ノード	重要
ノード IOPS の警告しきい値を超過（ドキュメントノード lopsWarning）	リスク	ノード	警告
ノードMBpsの重大しきい値を超過（ドキュメントノードMbpsIncident）	インシデント	ノード	重要
ノードMBpsの警告しきい値を超過（ドキュメントノードMbpsWarning）	リスク	ノード	警告
ノードレイテンシミリ秒 / 処理の重大しきい値を超過（ドキュメントノードレイテンシインシデント）	インシデント	ノード	重要
ノードレイテンシミリ秒 / 処理の警告しきい値を超過（ドキュメントノードレイテンシ警告）	リスク	ノード	警告
ノード使用済み容量の重大しきい値を超過（ドキュメントNodePerfCapacityUsed Incident）	インシデント	ノード	重要
ノード使用済み容量の警告しきい値を超過（ドキュメントNodePerfCapacityUsed Warning）	リスク	ノード	警告
ノードの使用済みパフォーマンス容量-テイクオーバーの重大しきい値を超過（ocNodePerfCapacityUsedTakeoverIncident）	インシデント	ノード	重要

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ノードの使用済みパフォーマンス容量-テイクオーバーの警告しきい値を超過 (ocNodePerfCapacityUsedTakeoverWarning)	リスク	ノード	警告
ノード利用率の重大しきい値を超過（ドキュメントノード利用率インシデント）	インシデント	ノード	重要
ノード利用率の警告しきい値を超過（ドキュメントノード利用率の警告）	リスク	ノード	警告
利用率の高いノード HA ペアのしきい値を超過（ocNodeHaPairOverUtilizedInformation）	イベント	ノード	情報
ノードディスク断片化の警告しきい値を超過（Document NodeDiskFragmentation Warning）	リスク	ノード	警告
利用率の高いノードのしきい値を超過（ドキュメントノードのオーバー利用率警告）	リスク	ノード	警告
ノード動的しきい値を超過（Document NodeDynamicEventWarning）	リスク	ノード	警告

NVRAM バッテリイベント

NVRAM バッテリイベントは、バッテリーのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
NVRAM バッテリ低下 (Document EvtNvramBatteryLow)	リスク	ノード	警告
NVRAM バッテリ放電 (Document EvtNvramBatteryDischarged)	リスク	ノード	エラー
NVRAM バッテリ過充電 (Document EvtNvramBatteryOverCharge)	インシデント	ノード	重要

ポートイベント

ポートイベントは、クラスタポートに関するステータスを提供します。これにより、ポートが停止しているかどうかなど、ポート上の変更や問題を監視できます。

影響範囲：可用性

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ポートステータス停止 (DocumentEvtPortStatusDown)	インシデント	ノード	重要

影響範囲：パフォーマンス

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ネットワークポートMBpsの重大しきい値を超過 (文書NetworkPortMbpsIncident)	インシデント	ポート	重要
ネットワークポートMBpsの警告しきい値を超過 (Document NetworkPortMbpsWarning)	リスク	ポート	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
FCPポートMBpsの重大しきい値を超過（ドキュメントFcpPortMbpsIncident）	インシデント	ポート	重要
FCPポートMBpsの警告しきい値を超過（ドキュメントFcpPortMbpsWarning）	リスク	ポート	警告
ネットワークポート利用率の重大しきい値を超過（ドキュメントNetworkPortUtilizationIncident）	インシデント	ポート	重要
ネットワークポート利用率の警告しきい値を超過（ドキュメントNetworkPortUtilizationWarning）	リスク	ポート	警告
FCPポート利用率の重大しきい値を超過（ドキュメントFcpPortUtilizationIncident）	インシデント	ポート	重要
FCPポート利用率の警告しきい値を超過（ドキュメントFcpPortUtilizationWarning）	リスク	ポート	警告

電源装置イベント

電源装置イベントは、ハードウェアのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
1つ以上の電源装置に障害が発生しました（ドキュメント EvtPowerSupplyOneOrMoreFailed）	インシデント	ノード	重要

保護イベント

保護イベントは、ジョブの失敗や中止を通知して、問題を監視できるようにします。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：保護

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
保護ジョブが失敗しました（DocumentEvtProtectionJobTaskFailed）	インシデント	ボリュームまたはストレージサービス	重要
保護ジョブが中止されました（DocumentEvtProtectionJobAborted）	リスク	ボリュームまたはストレージサービス	警告

qtree イベント

qtree イベントは、qtree の容量とファイルとディスクの制限に関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
qtree スペースがほぼフル（qtree の qtreeSpaceNearlyFull）	リスク	qtree	警告
qtree スペースがフル（DocumentQtreeSpaceFull）	リスク	qtree	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
qtree スペースが正常（ Document qtree eSpaceThresholdOk）	イベント	qtree	情報
qtree のファイル数がハードリミットに到達（ Document EvtQtreeFilesHardLimitReached）	インシデント	qtree	重要
qtree のファイル数がソフトリミットを超過（ Document QtreeFilesSoftLimit超過）	リスク	qtree	警告
qtree のスペースがハードリミットに到達（ Document QtreeSpaceHardLimitReached）	インシデント	qtree	重要
qtree のスペースがソフトリミットを超過（ Document QtreeSpaceSoftLimit超過）	リスク	qtree	警告

サービスプロセッサイベント

サービスプロセッサイベントは、プロセッサのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
サービスプロセッサが設定されていません（ Document EvtServiceProcessorNotConfigured）	リスク	ノード	警告

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
サービスプロセッサがオフラインです (Document EvtServiceProcessorOffline)	リスク	ノード	エラー

SnapMirror 関係イベント

SnapMirror関係イベントは、SnapMirror関係のステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：保護

アスタリスク (*) は、Unified Manager イベントに変換された EMS イベントを示します。

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ミラーレプリケーションが正常でない (Document SnapmirrorRelationshipUnhealthy)	リスク	SnapMirror 関係	警告
ミラーレプリケーションを切断 (Document EvtSnapmirrorRelationshipStateBrokenoff)	リスク	SnapMirror 関係	エラー
ミラーレプリケーションの初期化に失敗しました (ドキュメント SnapMirror 関係の初期化に失敗しました)	リスク	SnapMirror 関係	エラー
ミラーレプリケーションの更新に失敗しました (ドキュメント: SnapmirrorRelationshipUpdateFailed)	リスク	SnapMirror 関係	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ミラーレプリケーションの遅延エラー（「Document EvtSnapMirrorRelationshipLagError」）	リスク	SnapMirror 関係	エラー
ミラーレプリケーションの遅延警告（「Document」「SnapMirrorRelationshipLagWarning」）	リスク	SnapMirror 関係	警告
ミラーレプリケーションの再同期失敗（ドキュメント：SnapmirrorRelationshipResyncFailed）	リスク	SnapMirror 関係	エラー
ミラーレプリケーションの削除済みドキュメントSnapMirror関係の削除	リスク	SnapMirror 関係	警告
同期レプリケーションが同期されていません*	リスク	SnapMirror 関係	警告
同期レプリケーションがリストアされました*	イベント	SnapMirror 関係	情報
同期レプリケーションの自動再同期に失敗しました*	リスク	SnapMirror 関係	エラー

Snapshot イベント

Snapshot イベントは、Snapshot のステータス情報を提供します。これにより、Snapshot の潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名、トラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
Snapshot の自動削除が無効（該当なし）	イベント	ボリューム	情報

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
Snapshot の自動削除が有効（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
Snapshot の自動削除設定を変更（該当なし）	イベント	ボリューム	情報

SnapVault 関係イベント

SnapVault 関係イベントは、SnapVault 関係のステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：保護

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
非同期バックアップが正常でない（ocument SnapVaultRelationshipUnhealthy）	リスク	SnapMirror 関係	警告
非同期バックアップを切断（Document EvtSnapVaultRelationshipStateBrokenoff）	リスク	SnapMirror 関係	エラー
非同期バックアップの初期化に失敗しました（Document EvtSnapVaultRelationshipInitializeFailed）	リスク	SnapMirror 関係	エラー
非同期バックアップの更新に失敗しました（ドキュメント SnapVault 関係更新失敗）	リスク	SnapMirror 関係	エラー
非同期バックアップの遅延エラー（Document EvtSnapVaultRelationshipLagError）	リスク	SnapMirror 関係	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
非同期バックアップの遅延警告（ Document EvtSnapVaultRelationshipLagWarning ）	リスク	SnapMirror 関係	警告
非同期バックアップの再同期失敗（「 Document EvtSnapvaultRelationshipResyncFailed 」）	リスク	SnapMirror 関係	エラー

ストレージフェイルオーバー設定のイベント

ストレージフェイルオーバー（SFO）の設定のイベントは、ストレージフェイルオーバーが無効か設定されていないかに関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ストレージフェイルオーバーインターコネクトの1つ以上のリンクが停止（ Document EvtSfoInterconnectOneOrMoreLinksDown ）	リスク	ノード	警告
ストレージフェイルオーバーが無効になっている（ Document EvtSfoSettingsDisabled ）	リスク	ノード	エラー
ストレージフェイルオーバーが設定されていません（ Document EvtSfoSettingsNotConfigured ）	リスク	ノード	エラー
ストレージフェイルオーバーの状態 - テイクオーバー（ Document EvtSfoStateTakeover ）	リスク	ノード	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ストレージフェイルオーバーの状態 - 部分的なギブバック（ドキュメント EvtSfoStatePartialGiveback）	リスク	ノード	エラー
ストレージフェイルオーバーノードのステータスが停止しています（Document EvtSfoNodeStatusDown）	リスク	ノード	エラー
ストレージフェイルオーバーのテイクオーバーを実行できません（ドキュメントエヴァットフォックステイクオーバー可能）	リスク	ノード	エラー

ストレージサービスイベント

ストレージサービスイベントは、ストレージサービスの作成とサブスクリプションに関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ストレージサービスを作成（該当なし）	イベント	ストレージサービス	情報
ストレージサービスをサブスクライブ（該当なし）	イベント	ストレージサービス	情報
ストレージサービスをアンサブスクライブ（該当なし）	イベント	ストレージサービス	情報

影響範囲：保護

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
管理対象 SnapMirror 関係の予期しない削除が発生しました。また、StorageServiceUnsupportedRelationshipDeletion を参照してください	リスク	ストレージサービス	警告
ストレージサービスメンバボリュームの予期しない削除（ Document EvtStorageServiceUnexpectedVolumeDeletion ）	インシデント	ストレージサービス	重要

ストレージシェルフイベント

ストレージシェルフイベントは、ストレージシェルフが異常な状態である場合に通知します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
異常な電圧範囲 (Document EvtShelfVoltageAbnormal)	リスク	ストレージシェルフ	警告
異常な電流範囲 (Document EvtShelfCurrentAbnormal)	リスク	ストレージシェルフ	警告
異常な温度（ドキュメントシェルフ温度異常）	リスク	ストレージシェルフ	警告

SVM イベント

SVM イベントは、SVM のステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：可用性

アスタリスク（*）は、Unified Manager イベントに変換された EMS イベントを示します。

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
SVM CIFS サービスが停止（Document EvtVserverCifsServiceStatusDown）	インシデント	SVM	重要
SVM CIFS サービス未設定（該当なし）	イベント	SVM	情報
存在しないCIFS共有*に対して試行します	インシデント	SVM	重要
CIFS NetBIOS Name Conflict *	リスク	SVM	エラー
CIFSシャドウコピー処理に失敗しました*	リスク	SVM	エラー
多数のCIFS接続*	リスク	SVM	エラー
最大CIFS接続数を超えました*	リスク	SVM	エラー
ユーザあたりの最大CIFS接続数を超えました*	リスク	SVM	エラー
SVM FC/FCoE サービス停止（Document EvtVserverFcServiceStatusDown）	インシデント	SVM	重要
SVM iSCSI サービスが停止（Document EvtVserverIscsiServiceStatusDown）	インシデント	SVM	重要
SVM NFS サービス停止（Document EvtVserverNfsServiceStatusDown）	インシデント	SVM	重要
SVM FC / FCoE サービス未設定（該当なし）	イベント	SVM	情報

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
SVM iSCSI サービス未設定 (該当なし)	イベント	SVM	情報
SVM NFS サービス未設定 (該当なし)	イベント	SVM	情報
SVM が停止しました (Document EvtDown)	リスク	SVM	警告
AVサーバがビジーのため新しいスキャン要求の受け入れ不可*	リスク	SVM	エラー
ウィルススキャン*用のAVサーバ接続がありません	インシデント	SVM	重要
AVサーバが登録されていません*	リスク	SVM	エラー
応答するAVサーバ接続がありません*	イベント	SVM	情報
権限のないユーザがAVサーバ*へのアクセスを試みました	リスク	SVM	エラー
AVサーバ*がウィルスを検出しました	リスク	SVM	エラー
Infinite Volumeを備えたSVMのストレージが使用できません (ドキュメント : VserverStorageNotAvailable)	インシデント	Infinite Volumeを備えたSVM	重要
Infinite Volumeを備えたSVMのストレージが一部使用可能 (ドキュメント : EvtVserverStoragePartiallyAvailable)	リスク	Infinite Volumeを備えたSVM	エラー

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
Infinite Volumeを備えたSVMのネームスペースミラーコンスティチュエントの可用性に問題がある (ドキュメント EvtVserverNsMirrorAvailabilityHavingIssues)	リスク	Infinite Volumeを備えたSVM	警告

影響範囲：容量

次に示す容量のイベントは、Infinite Volumeを備えたSVMにのみ該当します。

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
Infinite Volumeを備えたSVMのスペースがフル (Document EvtVserverFull)	リスク	SVM	エラー
Infinite Volumeを備えたSVMのスペースがほぼフル (ドキュメント : VserverNearlyFull)	リスク	SVM	警告
Infinite Volumeを備えたSVMのSnapshotの使用制限を超過 (Document EvtVserverSnapshotUsageExceeded)	リスク	SVM	警告
Infinite Volumeを備えたSVMのネームスペースのスペースがフル (Document Storage VserverNamespaceFull)	リスク	SVM	エラー
Infinite Volumeを備えたSVMのネームスペースのスペースがほぼフル (ドキュメント Storage VserverNamespaceNearlyFull)	リスク	SVM	警告

影響範囲：構成

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
SVM を検出 (該当なし)	イベント	SVM	情報
SVM が削除されました (該当なし)	イベント	クラスタ	情報
SVM の名前が変更されました (該当なし)	イベント	SVM	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
SVM IOPS の重大しきい値を超過 (ドキュメント：vmIopsIncident)	インシデント	SVM	重要
SVM IOPS の警告しきい値を超過 (ドキュメントの注意：警告)	リスク	SVM	警告
SVM MBpsの重大しきい値を超過 (ドキュメント：vmMbpsIncident)	インシデント	SVM	重要
SVM MBpsの警告しきい値を超過 (ドキュメントのMSvmMbpsWarning)	リスク	SVM	警告
SVM レイテンシの重大しきい値を超過 (ドキュメント：vmLatencyIncident)	インシデント	SVM	重要
SVM レイテンシの警告しきい値を超過 (ドキュメント：vmLatencyWarning)	リスク	SVM	警告

SVMストレージクラスのイベント

SVMストレージクラスのイベントは、ストレージクラスのステータス情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。SVMストレージクラスは、Infinite Volumeを備えたSVMにのみ存在します。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント

名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

次に示すSVMストレージクラスのイベントは、Infinite Volumeを備えたSVMにのみ該当します。

影響範囲：可用性

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
SVMストレージクラスが使用できません (Document Storage ClassNotAvailable)	インシデント	ストレージクラス	重要
SVMストレージクラスが一部使用可能 (ドキュメント : EvtVserverStorageClassPartiallyAvailable)	リスク	ストレージクラス	エラー

影響範囲：容量

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
SVMストレージクラスのスペースがほぼフル (Document EvtVserverStorageClassNearlyFull)	リスク	ストレージクラス	警告
SVMストレージクラスのスペースがフル (Document Storage VserverStorageClassFull)	リスク	ストレージクラス	エラー
SVMストレージクラスのSnapshotの使用制限を超えています (Document EvtVserverStorageClassSnapshotUsageExceeded)	リスク	ストレージクラス	警告

ユーザクォータイベントとグループクォータイベント

ユーザクォータイベントとグループクォータイベントは、ユーザクォータとユーザグループクォータの容量およびファイルとディスクの制限に関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント

名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：容量

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ユーザクォータまたはグループクォータのディスクスペースがソフトリミットを超過 (Document EvtUserOrGroupQuotaDiskSpaceSoftLimit超過)	リスク	ユーザクォータまたはグループクォータ	警告
ユーザクォータまたはグループクォータのディスク容量がハードリミットに到達 (Document EvtUserOrGroupQuotaDiskSpaceHardLimitReached)	インシデント	ユーザクォータまたはグループクォータ	重要
ユーザクォータまたはグループクォータのファイル数がソフトリミットを超過 (Document EvtUserOrGroupQuotaFileCountSoftLimit未超過)	リスク	ユーザクォータまたはグループクォータ	警告
ユーザクォータまたはグループクォータのファイル数がハードリミットに到達しました (Document EvtUserOrGroupQuotaFileCountHardLimitReached)	インシデント	ユーザクォータまたはグループクォータ	重要

ボリュームイベント

ボリュームイベントは、ボリュームのステータスに関する情報を提供します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名、トラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

アスタリスク (*) は、Unified Manager イベントに変換された EMS イベントを示します。

影響範囲：可用性

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ボリュームが制限状態（Document EvtVolumeRestricted）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームがオフライン（Document EvtVolumeOffline）	インシデント	ボリューム	重要
ボリュームは一部使用可能（ドキュメント別のボリューム）	リスク	ボリューム	エラー
ボリュームがアンマウントされています（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームをマウント（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームを再マウント（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームジャンクションパスが非アクティブ（Document EvtVolumeFunctionPathInactive）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームのオートサイズを有効化（適用不可）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームのオートサイズを無効化（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームのオートサイズの最大容量を変更（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームのオートサイズの増分サイズを変更（該当なし）	イベント	ボリューム	情報

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
シンプロビジョニングボリュームにスペースリスク（文書化「シンプロビジョニング」の「ボリュームスペースリスク」）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームスペースがフル（Document EvtVolumeFull）	リスク	ボリューム	エラー
ボリュームスペースがほぼフル（Document EvtVolumeNearlyFull）	リスク	ボリューム	警告
ボリューム論理スペースがフル*（volumeLogicalSpaceFull）	リスク	ボリューム	エラー
ボリューム論理スペースがほぼフル*（volumeLogicalSpaceNearlyFull）	リスク	ボリューム	警告
ボリューム論理スペースが正常*（volumeLogicalSpaceAllok）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームの Snapshot リザーブスペースがフル（Document EvtSnapshotFull）	リスク	ボリューム	警告
Snapshot コピーが多すぎる（ocumentEvtSnapshotTooMany）	リスク	ボリューム	エラー
ボリュームの qtree クォータがオーバーコミット（Document EvtVolumeQtreeQuotaOvercommitted）	リスク	ボリューム	エラー

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ボリュームの qtree クォータがほぼオーバーコミット（ Document EvtVolumeQtreeQuotaAlmostOvercommitted ）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームの増加率が異常（ Document EvtVolumeGrowthRateAbnormal ）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームのフルまでの日数（ Document EvtVolumeDaysUntilFullSoon ）	リスク	ボリューム	エラー
ボリュームのスペースギャランティを無効化（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームのスペースギャランティを有効化（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームのスペースギャランティを変更（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームの Snapshot リザーブのフルまでの日数（ Document EvtVolumeSnapshotReserveDaysUntilFullSoon ）	リスク	ボリューム	エラー
FlexGroup コンスティテュエントのスペースに問題あり *（ flexGroupConstitutsHaveSpaceIssues ）	リスク	ボリューム	エラー
FlexGroup コンスティテュエントのスペースステータスがすべて正常 *（ flexGroupConstitutionsSpaceStatusAllOK ）	イベント	ボリューム	情報

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
FlexGroup コンスティテュエントの inode に関する問題*（flexGroupConstitutionsHaveInodesIssues）	リスク	ボリューム	エラー
FlexGroup コンスティテュエント inode ステータスすべて OK*（flexGroupConstitutionsInodesStatusAllOK）	イベント	ボリューム	情報
WAFL ボリュームのオートサイズが失敗しました*	リスク	ボリューム	エラー
WAFL ボリュームのオートサイズ完了*	イベント	ボリューム	情報

影響範囲：構成

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ボリュームの名前を変更（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームを検出（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリュームが削除されました（該当なし）	イベント	ボリューム	情報

影響範囲：パフォーマンス

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
QoS ボリューム最大 IOPS の警告しきい値を超過（ドキュメントの QosVolumeMaxIopsWarning）	リスク	ボリューム	警告

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
QoSボリューム最大MBpsの警告しきい値を超過 (ドキュメントのQosVolumeMaxMbpsWarning)	リスク	ボリューム	警告
QoS ボリューム最大 IOPS/TB の警告しきい値を超過 (ドキュメントのQosVolumeMaxIopsPerTbWarning)	リスク	ボリューム	警告
ボリューム IOPS の重大しきい値を超過 (ドキュメントボリュームIopsIncident)	インシデント	ボリューム	重要
ボリューム IOPS の警告しきい値を超過 (ドキュメントボリュームのIopsWarning)	リスク	ボリューム	警告
ボリュームMBpsの重大しきい値を超過 (ドキュメントボリュームMbpsIncident)	インシデント	ボリューム	重要
ボリュームMBpsの警告しきい値を超過 (ドキュメントボリュームの警告)	リスク	ボリューム	警告
ボリュームレイテンシミリ秒 / 処理の重大しきい値を超過 (ドキュメントボリュームレイテンシインシデント)	インシデント	ボリューム	重要
ボリュームレイテンシミリ秒 / 処理の警告しきい値を超過 (ドキュメントボリュームレイテンシ警告)	リスク	ボリューム	警告

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ボリュームキャッシュミス率の重大しきい値を超過（ドキュメント VolumeCacheMissRatioIncident）	インシデント	ボリューム	重要
ボリュームキャッシュミス率の警告しきい値を超過（ドキュメント VolumeCacheMissRatioWarning）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームレイテンシ/IOPSの重大しきい値を超過（ドキュメントボリュームレイテンシ/IOPSの重大しきい値を超過）	インシデント	ボリューム	重要
ボリュームレイテンシ/IOPSの警告しきい値を超過（ドキュメントボリュームレイテンシ/IOPSの警告）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームレイテンシ/MBpsの重大しきい値を超過（ドキュメントボリュームレイテンシ/MBpsの重大しきい値を超過）	インシデント	ボリューム	重要
ボリュームレイテンシ/MBpsの警告しきい値を超過（ドキュメントボリュームレイテンシ/MBpsの警告）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームレイテンシ/アグリゲートの使用済み容量の重大しきい値を超過（文書VolumeLatencyAggregatePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	ボリューム	重要

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ボリュームレイテンシ/アグリゲートの使用済み容量の警告しきい値を超過（DocumentVolumeLatencyAggregatePerfCapacityUsedWarning）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームレイテンシ/アグリゲート利用率の重大しきい値を超過（DocVolumeLatencyAggregateUtilizationIncident）	インシデント	ボリューム	重要
ボリュームレイテンシ/アグリゲート利用率の警告しきい値を超過（DocumentVolumeLatencyAggregateUtilizationWarning）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームレイテンシ/ノードの使用済み容量の重大しきい値を超過（文書VolumeLatencyNodePerfCapacityUsedIncident）	インシデント	ボリューム	重要
ボリュームレイテンシ/ノードの使用済み容量の警告しきい値を超過（文書VolumeLatencyNodePerfCapacityUsedWarning）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームレイテンシ/ノードの使用済みパフォーマンス容量-テイクオーバーの重大しきい値を超過（文書VolumeLatencyAggregatePerfCapacityUsedTakeoverIncident）	インシデント	ボリューム	重要

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ボリュームレイテンシ/ノードの使用済みパフォーマンス容量-テイクオーバーの警告しきい値を超過（文書VolumeLatencyAggregatePerfCapacityUsedTakeoverWarning）	リスク	ボリューム	警告
ボリュームレイテンシ/ノード利用率の重大しきい値を超過（ドキュメントVolumeLatencyNodeUtilizationIncident）	インシデント	ボリューム	重要
ボリュームレイテンシ/ノード利用率の警告しきい値を超過（DocVolumeLatencyNodeUtilizationWarning）	リスク	ボリューム	警告

ボリューム移動ステータスイベント

ボリューム移動のステータスのイベントは、ボリューム移動のステータスについて通知します。これにより、潜在的な問題を監視できます。影響範囲別にイベントがまとめられ、イベント名とトラップ名、影響レベル、ソースタイプ、および重大度が表示されます。

影響範囲：容量

イベント名（トラップ名）	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ボリューム移動ステータス：実行中（該当なし）	イベント	ボリューム	情報
ボリューム移動ステータス - 失敗（DocumentEvtVolumeMoveFailed）	リスク	ボリューム	エラー
ボリューム移動ステータス：完了（該当なし）	イベント	ボリューム	情報

イベント名 (トラップ名)	影響レベル	ソースタイプ	重大度
ボリューム移動 - カット オーバー保留 (Document EvtVolumeMoveCutoverDeferred)	リスク	ボリューム	警告

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。